

河合製巧株式会社関東事業所

所在地 野木町大字野木 141-4 従業員数 27名

主な事業内容

住宅内装部材（階段、カウンター、フローリング等）の製造販売

当社は昭和9年愛知県名古屋市の木工所として創業、昭和22年株式会社を設立し、平成2年野木町に関東事業所を立ち上げ現在に至っています。

木製品を中心に様々なハウスメーカー様の設計、加工、塗装を行い納めさせて頂いており、施主様の要望にも出来る限りの対応をし製作しています。また近年では結婚式場やセレモニーホールの製品も手掛けています。

FSC・PEFC-COCを取得、地球環境に配慮した材料調達、生産活動を行い環境保全にも取り組んでいます。

今後も一層のアイデアと技術力で、お客様の求める製品作りを目指します。



《社員のひとこと》

木を扱う仕事なので環境は気になります。私たちの出来ることは材料を無駄にせず出来る限り使う、また職場である野木町の環境保全の一環として地域貢献活動に参加し貢献していきます。

(新沼 康三)

広報連絡委員レポートNo.375

私が野木町定住を
決めた理由



広報連絡委員
石川 清

私が、埼玉県から野木町に越してきたのは、約40年前の2月初旬、相当寒い季節であったと記憶しています。

初めて通勤のため自転車で駅に向かう途中、約12分ほどでしたが、あまりの寒さに身をすくめました。しかし、目の前の駅舎の先、遠方の空に、日光連山から南に続く秩父連山の頂が雪で白く輝いており、その素晴らしさに寒さを一瞬忘れるぐらい感動しました。駅舎から四方を見渡すと、南に白く輝く富士山、東に筑波山、北西には那須の山々が迫り、まるでスイスの風景写真を見ているようで、この町に来てよかったと思えました。

その景色を楽しむため、暇を見つけては自転車で町内外を走り回るようになりましたが、遠景だけでなく、家の周囲にも素晴らしい環境が存在しているこ

とに気付かされ、ますますこの町に愛着を感じました。

我が家のある北斗団地は、緑豊かな平地林に囲まれているため、団地外の道路を走る車の音が遮断され、その代わりにスズメやハト、ウグイス、キジ、コジケイなどの野鳥の鳴き声が響き渡ります。また、タヌキや野うさぎ、イタチ、つがいのキジ、一連隊の子どもたちを引き連れたコジケイ親子など、愛らしい姿をした動物たちの発見に、当時4歳だった娘に、興奮気味に話している自分に気付き、埼玉からこの町に来て、心底からよかったと思えました。

まだまだ、この町の素晴らしさは語りつくせません。ただ、花と緑と動物たちがいつまでもこのままであればと強く願っております。

